

第6講 人口統計の調べかた

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 日本の人口統計データの探しかた

1 前回課題について

課題：つぎの4つの例について、空欄になっている数値を記入せよ。

1.1 多産多死の社会

第1世代：出生時 = 女 100万 + 男 100万
 出産可能年齢 = 50万 + 50万
 CFR = (4)

第2世代：出生時 = 100万 + 100万
 出産可能年齢 = 50万 + 50万
 CFR = (4)

第3世代：出生時 = 100万 + 100万
 ……

1.2 多産少死の社会

第1世代：出生時 = 女 100万 + 男 100万
 出産可能年齢 = 96万 + 96万
 CFR = 4

第2世代：出生時 = (192)万 + (192)万
 出産可能年齢 = (184)万 + (184)万
 CFR = 4

第3世代：出生時 = (369)万 + (369)万
 ……

1.3 少産少死の社会

第1世代：出生時 = 女 100万 + 男 100万
 出産可能年齢 = 96万 + 96万
 CFR = (2.08)

第2世代：出生時 = 100万 + 100万
 出産可能年齢 = 96万 + 96万
 CFR = (2.08)

第3世代：出生時 = 100万 + 100万
 ……

1.4 出生力が置換水準を下回った (below-replacement-level) 社会

第1世代：出生時 = 女 100万 + 男 100万
 出産可能年齢 = 96万 + 96万
 CFR = 1.5

第2世代：出生時 = (72)万 + (72)万
 出産可能年齢 = (69)万 + (69)万
 CFR = 1.5

第3世代：出生時 = (52)万 + (52)万
 ……

2 人口統計

2.1 「人口動態調査」(または「人口動態統計」) について

政府に提出される各種の届出(出生届、死亡届、転出・転入届、出入国管理、婚姻届、離婚届……)にもとづいて集計・公表される。官庁の日常的な業務のなかで出てくるデータを集計したものであるため、「業務統計」と呼ばれ、統計のために調査をおこなう「調査統計」と区別される。

2.2 国籍のあつかい

「国勢調査」は、国籍にかかわらず「日本に常住する者」全員を対象とした調査であり、基本的には全員分の人口データが集計されている。特に必要がある場合には、「外国人」と「日本人」を別に集計した表もある。

これに対して、「人口動態統計」で計算されている各種の人口指標は、「日本に居住する日本人」についてのものである。印刷・公表される『人口動態統計』は、最近では3巻セットになっており、外国人のデータは下巻にまとめられている。つまり、「下巻」に記載のデータ以外は、日本人(=日本国籍を持つ者)に限定されている。

3 出生力の統計

3.1 年齢別(特殊)出生率とその合計

(女性)年齢別出生率: x 歳の母親からの出生数 / 10月1日の x 歳女性人口

完結出生力(CFR): 特定の出生コーホートについての、各年齢時の年齢別出生率の合計

合計(特殊)出生率(TFR): 特定の1年間についての、年齢別出生率の合計

長期間にわたって出生行動が安定的であれば、CFR (complete fertility rate) と TFR (total fertility rate) は一致する。

3.2 e-Stat の人口統計情報

- 人口動態調査 出生 表7「出生数, 嫡出子 - 嫡出でない子・性・出生順位・母の年齢(各歳)別」<<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003411633>>
- 平成30年10月1日現在人口推計 表1「年齢(各歳), 男女別人口及び人口性比 - 総人口, 日本人人口」<<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003312312>>

文献

別府 志海 (2020) 「全国人口の再生産に関する主要指標：2018年」『人口問題研究』76(1): 156-171. <<http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/data/pdf/20760111.pdf>>